

特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会
2014 年度 事業報告

1	農産物直販事業
1－1	山清水米直販
・平成 25 年産米 新潟県の「特別栽培米」の認証を一部取得し、若米会様の「限界集落プロジェクト」(郷プロジェクト)に 120 俵(7,200kg)出荷致しました。一般販売分としては「山清水米」10,140kg、「超特選 農薬・化学肥料不使用『山清水米』はざ架け米」(以下はざ架け米)870kg を出荷(共に完売)し、初めて一般の方への販売量が 10 トンを超えました。 ・平成 26 年産米 山清水米の全生産者が新潟県の「特別栽培米」の認証を取得し、若米会様に 160 俵(9,600kg)出荷しました。一般販売分としては、3 月末時点の発送済と予約分で 6,397kg、はざ架け米 749kg の販売量となっています。	
1－2	農業生産
2014 年度から法人組織として稲作を開始しました。稲作に必要な農業機械を中古で購入し、池谷集落の共同コンバイン組合に加入する事で、稲作に関する作業を自前で行えるようになりました。 春の時点では農業委員会へ農業参入手続きを行っていなかったため、耕地を直接借りるのではなく、作業委託を受ける形で田んぼの耕作を行いました。村のベテランから「いい稲になった」と言われるほど、農業技術については一定の水準だったと言えます。秋には農業参入の手続きを完了し、正式に農業法人等という扱いになりました。来年度からは法人として耕地を借りる形にすることができるようになります。	
1－3	加工品開発・販売
「山清水米野菜がゆ」「十日町産のわらび・ぜんまい・うどを贅沢に使用した炊込みご飯の素」「紅はるかで作った干し芋」「妻有ポークと十日町池谷産大根で作った豚角煮大根」の 4 つの新商品を開発しました。 また、2013 年度に開発した「山清水米白がゆ」の売上は 654,066 円となりました。 来年度は、販路拡大・パッケージ検討・新商品の開発に取り組むとともに、原材料を池谷集落の皆さんからの調達率を上げていく方向で進めています。十日町市や池谷集落で作ったおいしい農作物が、いつでもみなさんの食卓で召し上がっていただけるよう、今後も努力していきます。	
2	体験交流事業
2014 年度は計 13 回のイベントを開催し、のべ参加人数は 156 名となりました。 ・田んぼへ行こう！！ 7 年目となる「田んぼへ行こう！！」は今年度より実行委員会単独開催で実施しました。リピーターの方が赤ちゃん連れで来てくださったり、家族の定例行事として参加していただく方もおり、小さな池谷ファンが増え、集落のみなさんも喜んでいきます。 ・山村へ行こう！ 田舎暮らし体験イベント「山村へ行こう！」は、山菜スペシャルを開催いたしました。まだ雪が残る入山集落の斜面を、参加者のみなさんが果敢に上り、たくさんの山菜を収穫し、みんなでおいしくいただきました。	

・おうちを建てよう！ワークショップ 池谷集落に新築する農山村就農研修施設「めぶき」の建築を、十日町市の設計士グループ「StudioH5」様指導の下、ワークショップ形式で日本全国から多くの方に参加していただきました。みんなで汗をかき、頑張った後には、バーベキューなどの交流会で楽しみました。 ・ヨガでリフレッシュ in 池谷 ヨガイベントも4年目となり、定番イベントとなりました。天候に恵まれ池谷のブナ林や屋外で、自然と一体となりヨガを楽しんでいただきました。また、地元の方向けのヨガ教室も行いました。 ・収穫祭 毎年開催している収穫祭には、52名の方にご参加いただきました。池谷集落のおかあさんを中心に腕をふるっていただいたごちそうを、参加者のみなさんで楽しみました。住民の踊りや、参加者の方の美声のご披露もあり、大いに盛り上がりました。 ・スノーバスターズ・越後雪かき道場 スノーバスターズでは、今回は雪かきの他、地元の食材を使った米粉ラーメン作りも行いました。分校の鶏で出汁を取り、山清水米の米粉で麺を作り、みんなでおいしくいただきました。また NPO 法人中越防災フロンティア様と「越後雪かき道場」も共催いたしました。参加者は25名でした。	
3	移住促進事業
3-1	十日町市への移住促進
十日町市役所から事業委託を受け、以下3つの取組を実施しました。 ・移住相談会への出展 新潟県が主催する「にいがた暮らしセミナー」等各種移住相談会に出展し、十日町市のPRを行いました。全体で70組73名の移住相談に応じ、2014年度中に3組3名の方が十日町市に移住しました。 ・さとナビ（移住希望者向け情報サイト）の運営 十日町市への移住・交流情報を掲載したホームページ「さとナビ」の運営管理を行い、体験交流情報、インターン受入先情報、住まい情報、仕事情報、移住相談会情報を掲載しました。 さとナビ：http://www.tsukurou-tokamachi.jp/ ・市内事業者との連携 中山間地への移住促進だけではなく、市内の事業者向けに「移住者人材採用セミナー」を実施し、移住者と十日町市内への就職情報を上手くマッチングさせるための取組みにも力を入れ始めました。	
3-2	インターンシップ受入
インターンシップ受入希望団体向け説明会を実施し、十日町市内の中山間地で活動する5団体6名の方に参加いただきました。 その後、十日町市内各地にインターンシップ受入のコーディネートを行い、インターンシップ受入地域・団体も前年の3ヶ所から8ヶ所に増えました。 【受入地域・団体】 池谷集落、結いの里、松代ハイテクファーム、浦田地区、食と農を考える飛渡の会、竹所集落、ふれあいファーム三ヶ村、中立山集落 1年間で5名、1～2ヶ月間で6名、合計11名のインターン生が十日町市内で活動しました。このうち3組4名の方がインターンシップ終了後も十日町市内に住み続けています。	

3-3	住宅建設プロジェクト
新規就農者育成住宅「めぶき」の建設を行いました。春先に土地の購入代金支払いと登記を済ませ、7月から建設を開始しました。 一部材料は地元の越後杉を切って作った材料を使いました。壁板貼りなど、職人でなくてもできる作業はワークショップ形式を取り入れ、多くの人達の手垢がついた方法で建設を進めました。11月には外装が完成し、内装も7割方完成しました。 建設資金集めも並行して行い、助成金以外にもクラウドファンディングにも挑戦しました。結果として、目標額 100 万円に対し、148 万 6000 円のご支援を頂く事が出来ました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。入居希望者もあり、2015 年の 8 月には完成予定です。	
4	地域復興支援員設置事業
前年度に引き続き、十日町市役所との連携事業「地域復興支援員設置事業（通称：里山プロジェクト）」として、十日町市内各地の中山間地の活性化に向けた取り組みを行いました。 ・地産地消への取組 松代地域の芝峠温泉直売所や特別養護老人ホームほくほくの里等へ旬の地元産農産物の出荷支援や、2013 年度から開始した学校給食の地元産野菜使用率を高めるための取組も継続して行いました。 結果としては 41.7%（前年比 6.4%向上）となり、取組前と比べると約 10%近く向上しました。（下図参照）数値的な結果だけではなく、学校給食用の野菜作りを行う高齢者中心の地域生産団体では、会報による情報共有、講習会、共同出荷作業、親睦会などを通じて会員間での連帯を高める活動を行いました。さらに、収入に結びついた畑作が生きがい作りにつながり、活性化が進みました。 ・地域おこし協力隊サポート 十日町市で活動する地域おこし協力隊の各拠点での会議や月 1 回行われている全体会に出席し、活動についてアドバイスを行ったり、協力隊員向けの研修会の実施、先進地視察のコーディネートなど、地域おこし協力隊が活動しやすくなるよう支援を行いました。 ・その他の取組 イベント開催支援として、川西地域の「バイトウ」や松代地域の「冬の陣」などを支援しました。 その他の市外との交流では、世田谷棚田の会や日野市といった提携地域との交流や、越後田舎体験の受入や東下組棚田を守る会の棚田の草刈り隊の受入、まつだい歩こう会の上杉軍道イベントや松代やぶこぎきの会の山菜狩りツアー、キャンパス白倉でのダッチオープンイベントやバーベキューイベントなどの十日町市内に来ていただくイベント開催の支援も行いました。 高齢者の福祉的な面の支援では、高齢者サロンやゲートボール大会などを行いました。 情報発信の面では、川西地域の観光マップの作成や松之山地域の農産物直売所のブログによる広報支援等を行いました。	
5	情報発信・農山漁村応援事業
5-1	情報発信
・視察 15 団体 257 名の方にお越し頂きました。 衆議院総務委員会の視察の際には、現場からの意見として「地域おこし協力隊制度に関する提言」を提出しました。	

・ 10 周年記念事業 2014 年は中越大震災 10 周年目にあたる年でした。一つの節目として新潟県中越大震災復興基金を活用し、10 周年記念誌の発行と 10 周年記念シンポジウムを開催しました。 ・ 講演 12 会場に訪れ、1455 名の方に聞いて頂きました。	
5 - 2	農山漁村応援
・ 地域の販売支援 飛渡地区（池谷集落を含む 14 集落からなる区域）の農業者等で組織される「食と農を考える飛渡の会」のお米販売支援を行いました。大阪の米販売業者との大口取引の話をまとめ、広く飛渡地区の各集落またがってお米を取り扱う調整を行いました。結果として 500 万円を超える取引となりました。 このほか、「有限会社高長醸造場」の漬物や「民宿かくら」のそばの販売等を行いました。 ・ 6 次化起業支援研修 認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センターより委託を受け、10 月 25 日～2 月 17 日にかけて 6 次化起業支援研修を実施いたしました。11 名の方に受講頂き、農村で 6 次産業化をテーマとして起業するための講義や先進地視察、事業計画書作成のフォローアップを行いました。	
6	管理部門
6 - 1	受賞
・ 「第 5 回地域再生大賞」特別賞 地域再生大賞とは、深刻化する地域の疲弊に挑む団体を、地方新聞社と共同通信社のネットワークで取り上げ、エールを送るという褒賞です。特別賞は、独自の工夫を重ねた団体に贈られる賞です。	
6 - 2	メディア掲載
・ 新聞 2014 年 4 月 新潟日報 、11 月 毎日新聞 2015 年 1 月 日本農業新聞、3 月 十日町新聞、新潟日報 など ・ テレビ 2014 年 12 月 テレビ新潟、10 月 BSN にいがた放送、2015 年 3 月 NHK 総合 など ・ 雑誌他 2014 年 4 月 トランヴェール、A F C フォーラム 5 月 十日町市勢要覧 12 月 十日町市報 など	
6 - 3	3 年後の池谷を考える会
3 月 28 日に「3 年後の池谷を考える会」を行いました。2010 年に「5 年後の池谷を考える会」が行われてから、ちょうど 5 年。また集落の方向をみんなで考えようじゃないか、と池谷住民から提案があり、今回行うことになりました。 参加した住民、関係者からたくさんのアイデアが出て、「3 年後の池谷像」をまとめました。	